

まずやってみよう！

地域活動の目的

事故の発生を予防すること

農業生産や生計を維持できるように
事故に備えること

地域の営農を守る



目的の達成に向けた 地域活動の理想的な進め方

事故の傾向を把握する

- 事故情報を収集する
- 収集した情報を整理して、事故の傾向を把握する



農作業安全活動を推進する
体制を作る

- 地域を率先して引っ張るリーダーを決める
- リーダーをサポートするメンバーを決める



活動を実践する

- 活動目標を決める
- 活動手段を決める



「活動を実践する」までの道のりは
長いなあ・・・

まずやってみよう！

最初の2つは
置いておいて…



事故の傾向を把握する

農作業安全活動を推進する
体制を作る

まず活動してみよう

🔗 1章の内容



全国で頻繁に起きている事故から対策しよう
出来ることからやってみよう

集中的に事故が起きている
農業機械、農機具は分かっている。

特に注意すべきことを農業者に徹底し、
事故を予防しよう！

事故の予防策には、
様々な手段がある。

座談会で安全の話題を盛り込むなど、
簡単なことからやってみよう！

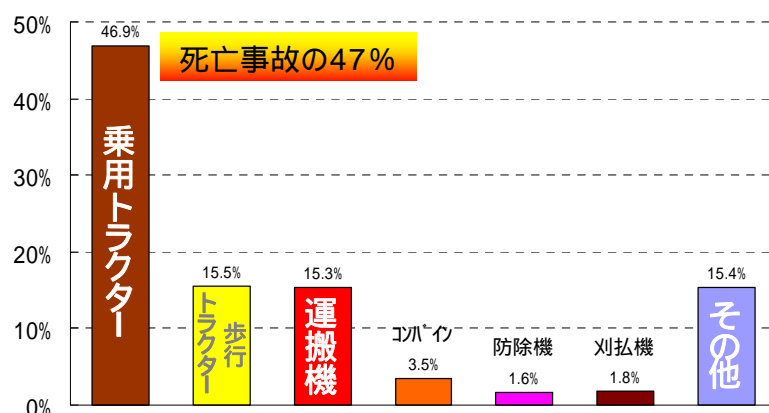
まずやってみよう！

5 ページの

集中的に死亡事故が起きている 農業機械は何か？

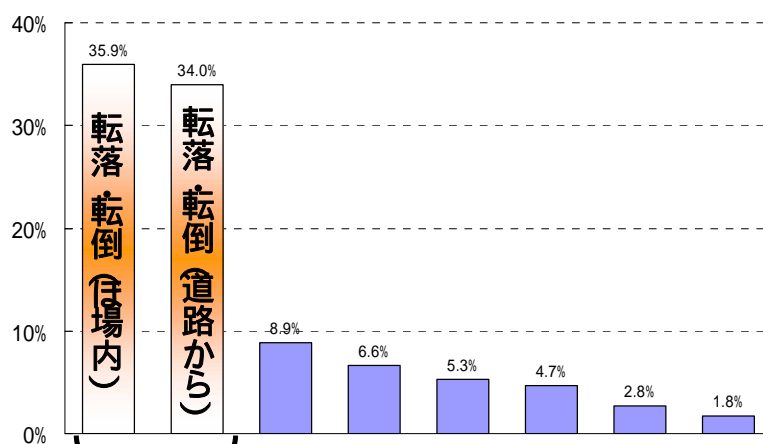
平成16年～20年の死亡事故件数を元に

農機に係る死亡事故



内訳を見ると

乗用トラクターの死亡事故原因



機械の転落・転倒が約7割

【農林水産省 農作業死亡事故調査より】

まずやってみよう！

5ページの

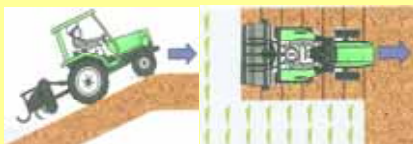
乗用トラクターについて 特に注意すべきこととは何か？

ブレーキペダルの連結を確認しよう！



作業が終わったら、昇降路を上げる前にブレーキ連結ロックをかけよう。

作業環境を確認し、危険性に配慮しよう！

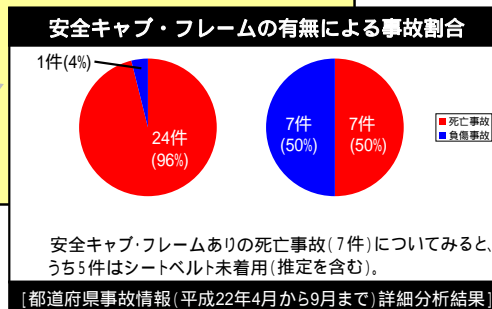
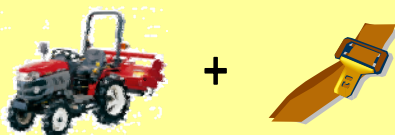


作業機を下げて、傾斜に対して
直角の向きで入退出しよう。



危険が潜む場所は草刈り
で見通しをよくしよう。

安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、
シートベルト着用を徹底しよう！



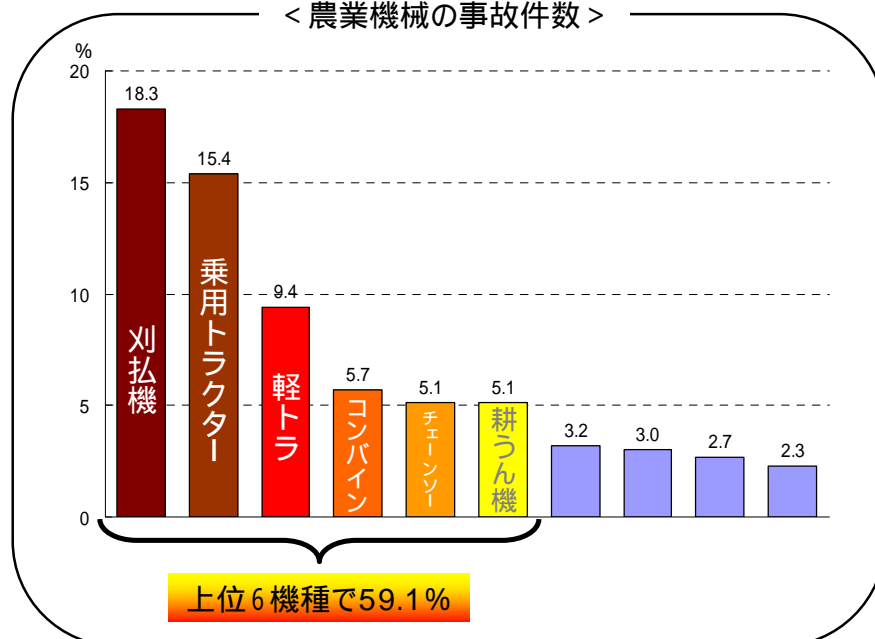
まずやってみよう！

5 ページの

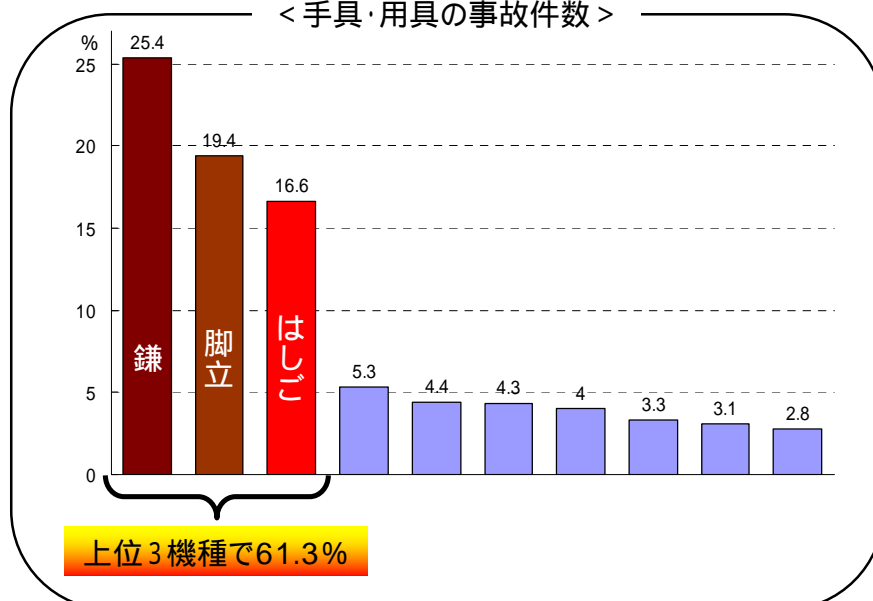
集中的に事故が起きている 農業機械、農機具は何か？

平成12年度 1道8県での農作業事故 約1万件の分析結果を元に

< 農業機械の事故件数 >



< 手具・用具の事故件数 >



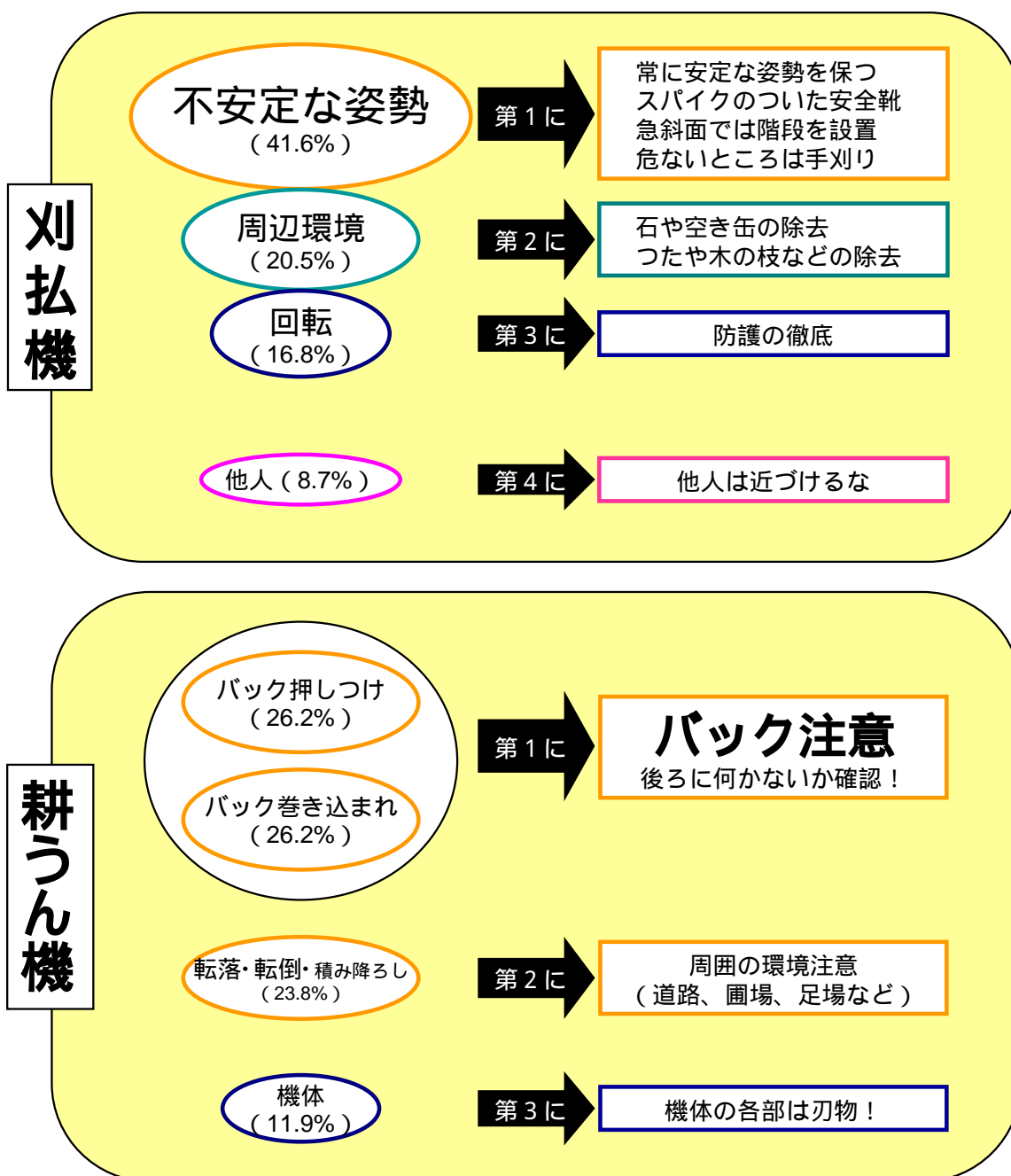
【平成12年度 日本農村医学会 全共連委託研究による実態調査より】

まずやってみよう！

5 ページの

特に注意すべきこととは何か？

例えば、刈払機、耕うん機の事故様態分析結果を元に



【富山県における事故（2000年～2009年） 富山県農村医学研究会】

まずやってみよう！

5 ページの

特に注意すべきことを 農業者に徹底するには？

座談会での話題提供

座談会で安全の
話題を出そう

歩行トラクターは、
後進時の事故が多いよ。
似たような経験はある？

先週危ない目に遭った
ばかりだよ！
気を付けないといけないね。



啓発資材の活用

自治体やJAから配布される
チラシ、パンフレット等を
活用しよう

先月配られたチラシに
刈払機の「チェックリスト」
が載っていたよ。
やってみた？

見逃してたなあ。
次回の座談会で
みんなでやってみようか。



講習会の活用

自治体やJAが開催する
講習会への参加を促そう

来月、安全講習会が
公民館で開催されるよ。
都合が良ければ
一緒に行かないか？

一度も行ったことないけど、
時間は取れそうだし、
行ってみるか！



安全について**対話**しよう！
安全イベントに**参加**しよう！

日常のコミュニケーションの中で、
「安全」についての対話を
増やすことを意識してみよう！

まずやってみよう！



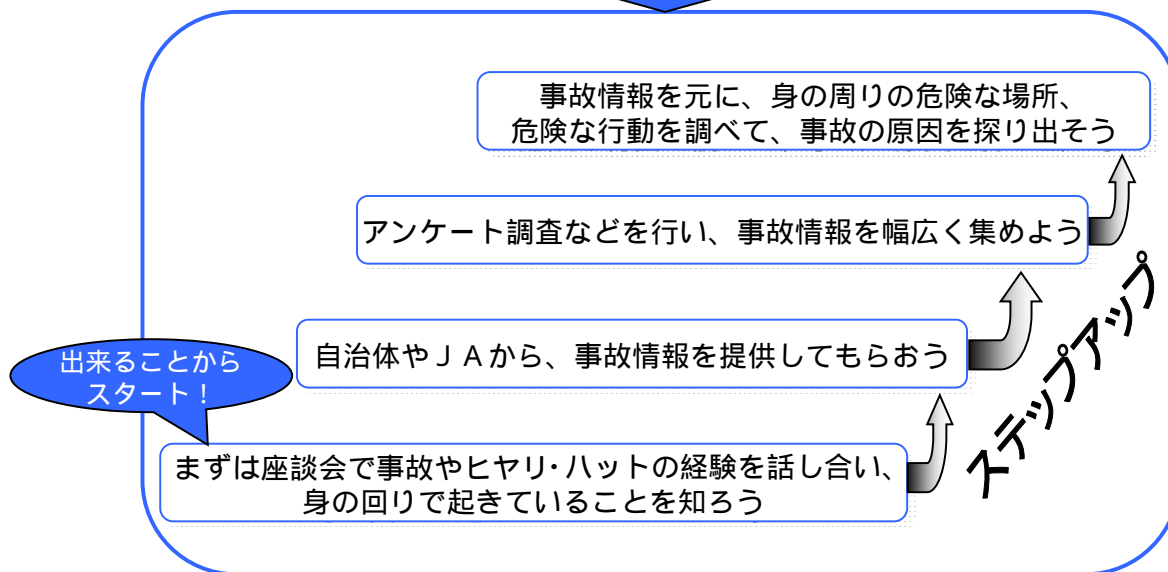
事故情報を集めてみよう

2章の内容

活動の成果を高めるカギ！



まずやってみよう



まずやってみよう！

事故の傾向を把握する

農作業安全活動を推進する体制を作る



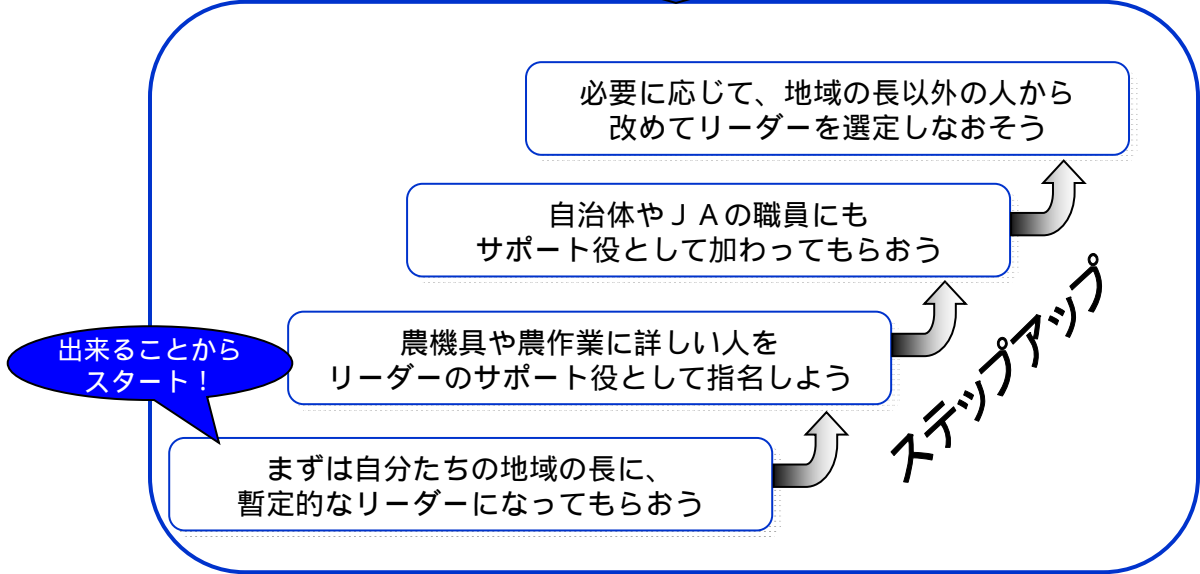
5ページで置いておいた2つを見よう

体制を作ってみよう

3章の内容



まずやってみよう



本マニュアルの構成

本マニュアルでは、各地域の指導者のみなさんにとにかく行動を起こして欲しい、という思いから、4ページに示した「理想的な地域活動の進め方」の最後のステップである『活動を実践しよう』のパートからスタートしています。

1. 地域活動の実践

農業者一人ひとりに安全を更に意識してもらい、これまでの習慣や身の回りの環境を改めて見直してもらうために、どんな活動をしたらいいか考えよう。

2. 農作業事故の傾向把握

自分たちの地域で、どれくらいの数の事故が発生しているのか、どのような事故が数多く発生しているのか、調べてみよう。

3. 推進・協力体制づくり

地域で農作業安全活動を盛り上げていくために、どんな体制・メンバーで取り組んだらいいか考えよう。

4. 地域活動の管理

地域活動を実効的・継続的に推進するための管理のポイントをおさえよう。

5. モデル地域の活動紹介


自治体、JA、小集団が、どのように農作業安全に取り組んでいるのか、参考にしてみよう。


マニュアルの読み方


このマニュアルは、自治体、JA、集落組織、専門部会など、さまざまな組織・団体の方に読んでいただくことを想定していますが、それぞれの組織・団体が主体的に取り組むべき活動内容はさまざまです。

本マニュアルの見出しには、次のような表示を付して、主に、誰に読んでいただきたい内容であることを示します。

< 読み手のマーク >

 **共通** : 全ての組織・団体の方に読んでいただきたい内容

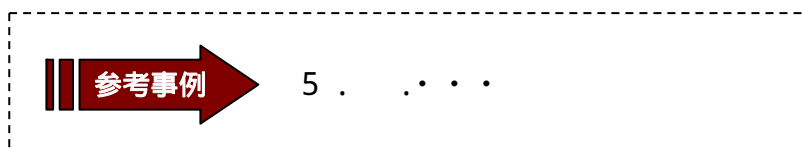
 **自治体・JA** : 主に、自治体やJAの方に読んでいただきたい内容

 **小集団** : 主に、集落・部会など、小集団の方に読んでいただきたい内容

モデル地域の参考事例

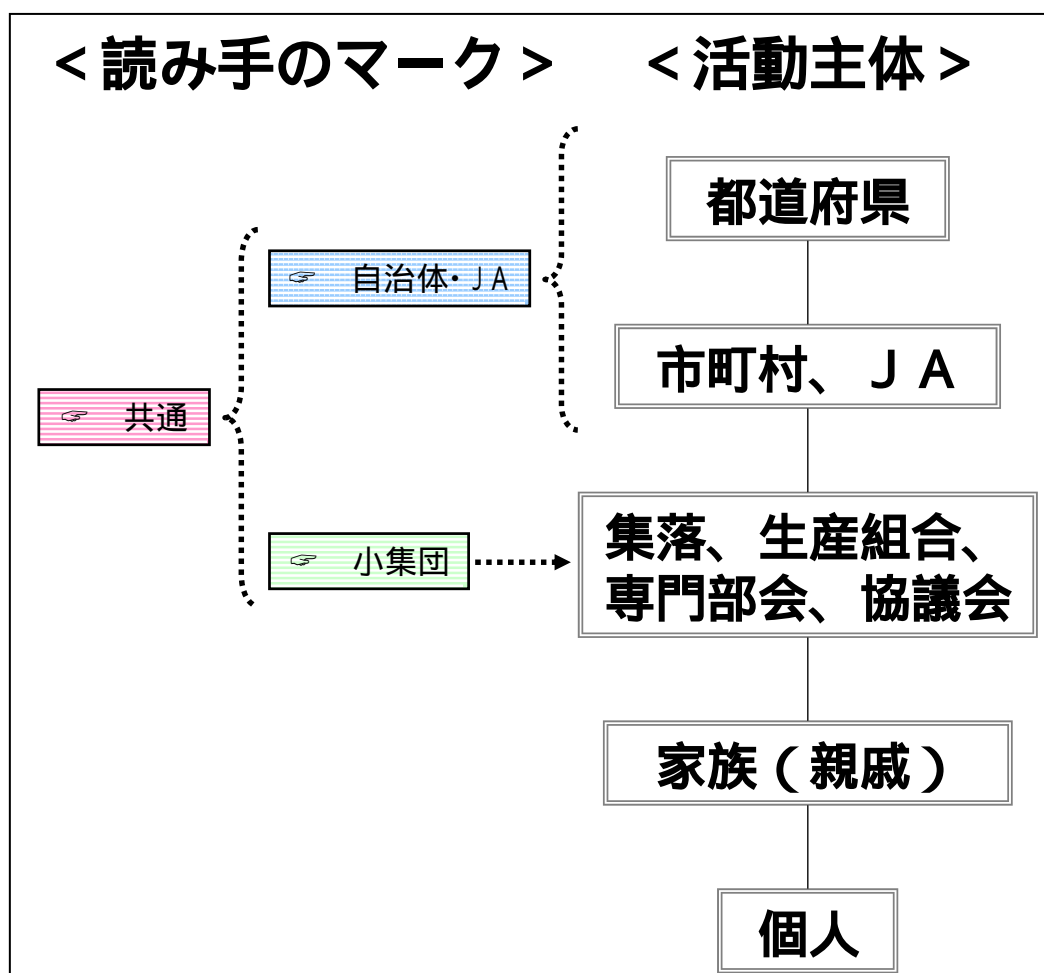
本マニュアルの作成にあたって、農作業安全に取り組んでいる / 取り組もうとしている団体や自治体を「モデル地域」として募集し、各モデル地域の活動（68ページ～）を参考にしています。

以下のマークは、本マニュアルの記載内容に関連する取り組みを行っているモデル地域を示しています。



活動主体のつながり

都道府県下の農作業安全の活動主体と、本マニュアルに表示する「読み手」のマークは、次のような関係になっています。



活動主体によって取り組み・活動の内容は異なりますが、いずれの階層においても、取り組みの目的は農業者個人（『個人』においては自分自身）の事故防止であるといえます。そのような共通の目的の達成に向けて、自治体、JA、生産組合など、さまざまな組織・団体がお互いに協力し合いながら、効率的に進めていくことがポイントです。